

食育だより

平成21年3月



異学年交流給食をしました

2月の給食目標は楽しい会食を工夫しようでした。

2月26日(木)

今年度は、児童会活動での縦割り班活動が盛んに行われてきました。仲良くなった班の1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生で行いました。

すこし緊張気味のクラスもありましたが、例年よりわきあいあいと会食ができたようです。



給食委員会活動



毎年のように委員会活動に一生懸命取り組んでくれる5、6年生です。今年度は、日々の当番活動に加えて、給食目標を各クラスに伝える活動や箸置きづくりの指導をしました。

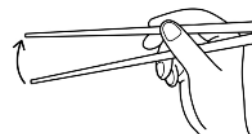
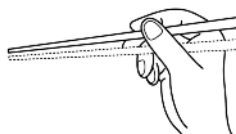
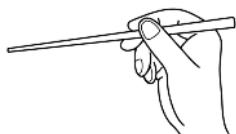
1月の児童朝会での発表も高学年の自覚をもってがんばることができました。

1年生

食育授業参観

今年度最後の食育授業を紹介します。今年度の実態調査で“望ましいはしの持ち方”がわかる児童が減っていました。食文化を伝承することは大切です。早いうちに箸の持ち方を習得するためにも、鉛筆の持ち方を習う1年生で、はしの持ち方をしっかり学習し、家でも練習していただくことが大切と考えました。

当日は、金時豆や大豆を使って豆運びゲームをしました。はしがすべりやすくむずかしかったようですが、ぜひご家庭でも練習してみてくださいね。



3年生

3年生では地場産物についての総まとめを担当と栄養教諭のチームティーチングで行いました。社会科で学んだ広島市の地場産物について振り返り、“ひろしまそだち”のマークもしっかり頭に入った3年生です。給食週間の取組“ひろしまわかめについて知ろう”の振り返りも行いました。

ひろしまそだち



授業後の保護者の感想です。

朝市にぜひ一度連れて行きます。なかなか一緒に食材を教えながら料理をしていませんが、これからは話しながら、教えながら、また作った後でも会話したいと思います。“地場さん”のマークを見ての買い物、気がつきませんでした。これからはしっかり頭に入れておきます。

わかめの勉強をした後、広島の野菜などにも興味をもち、いろいろな物を食べられるようになってきました。

わかめが南区で作られていることを知らなかったです。できるだけ広島産や近くで作っている物を買うようにしていますがそのことを子どもにも知らせていかないといけないなと思いました。

以前わかめのことについて詳しく子どもたちが習って帰ってきて、いろんな知らない事があったと言いながらも楽しそうに語っているのを見て良い経験になったと思います。今日の授業も復習になったし、これからもこのような授業を続けてほしいと思います。

娘も息子も大変「地場産物」「地産地消」に興味を持っています。スーパーに行っても“ひろしまそだち”を探しまわったり、産地にうるさくなっています。今度の日曜日は朝市につれていかなばならないようです。こういう勉強は自分自身がやったことがないので新鮮な気持ちで参観できました。子どもの「生きる力」(知恵?)につながる大切な授業だと思います。

児童の日記から

「まっていた朝市」

初めて朝市に今日行きました。さんかん日で「朝市に行ってみたいです。」というのをお母さんが聞いて、今日つれて行ってもらいました。富士見町のところでいっぱいいると思ったので早く行きました。するともう人はいっぱいいました。けどまだ準備中でした。

そしてじゅんぴがおわり始まりました。ワカメが一番左にあり、大きく「広島ワカメ」と書いてありました。さいしょに回った時にはワカメを買いました。人混み中を押し合いをしながら回るようで、2回目回った時にワカメとメカブのし食コーナーがあったのでワカメの方を取りました。その味はばつぐんでした。さいしょに回ったときよりワカメがすごく少なくなっていました。メカブも買いました。

もう朝市さい高。

保護者の方からのレシピ紹介～地場産物～小松菜を使って～

小松菜をゆがいて一口に切る。

マヨネーズ、からし、すりごまを混ぜ合わせる。

小松菜と を合わせる。

*我が家は小松菜をよく食べます。ぜひ作ってみてください。

